



安全データシート

1.化学品及び会社情報

化学物品等の名称	エチルメタトルイジン
製品コード	EmT
会社名	株式会社 三星化学研究所
住所	京都市北区上賀茂北ノ原町 14 番地
担当部門	開発・技術部
電話番号	075-781-1177
FAX 番号	075-701-7227
緊急連絡電話番号	075-781-1177
推奨用途及び使用上の制限	色素原料、写真薬原料

2.危険有害性の要約

物理化学的危険性

引火性液体 区分 4

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分 4

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） 区分 4

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（血液系）

環境に対する有害性

水生環境有害性（急性） 区分 3

水生環境有害性（長期間） 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

可燃性液体

飲み込むと有害

吸入すると有害

長期にわたる、又は反復ばく露による血液系の障害

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

保管

換気の良い場所で保管すること。

廃棄

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学名又は一般名

N-エチルメタトルイジン

別名

N-エチル-3-メチルアニリン

組成物質

N-エチルメタトルイジン

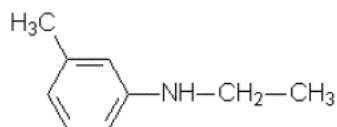
濃度又は濃度範囲

99.0%以上

分子式（分子量）

C₉H₁₃N (135.21)

化学特性（示性式又は構造式）



CAS 登録番号（CAS RN）

102-27-2

官報公示整理番号（化審法）

3-187

官報公示整理番号（安衛法）

情報なし

化管法指定化学物質の種別

情報なし

分類に寄与する不純物及び安定化添加物	なし
--------------------	----

4.応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5.火災時の措置

適切な消火剤	小火災：粉末消化剤、二酸化炭素、散水 大火災：粉末消化剤、二酸化炭素、耐アルコール泡消化剤、散水
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	蒸気が加熱により、空気との爆発性混合気を生成するおそれがある；屋内、屋外または下水溝で爆発のおそれがある。 火災時に刺激性、腐食性および／または毒性のガスを発生するおそれがある。 消火水や希釈水は腐食性および／または毒性があり、汚染を引き起こすおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ、容器を火災の場所から移動する。 消火水をせき止め、後で廃棄する；物質を拡散させてはいけない。 容器内に水を入れてはいけない。 消火後も大量の水を用いて容器を冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び	自給式呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

すべての着火源を取り除く（現場での喫煙、火花や火炎の禁止）。

適切な保護衣を着けていないときは、破損した容器や漏洩物に触れてはいけない。

危険でなければ、漏れを止める。

排水溝、下水溝、地下室や狭い場所への流入を防ぐ。

乾燥した土、砂や不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

容器内に水を入れてはいけない。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安全性及び反応性」を参照。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること（毒劇物）。

換気の良い場所で保管すること。

安全な容器包装材料

消防法、国連危険物輸送勧告で規定された容器を使用する。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	緊急時には呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼、顔面の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する

9.物理的及び化学的性質

物理的状态	
物理状态	液体
色	うす黄ないしうす茶色の液体
臭い	特有の臭気
融点・凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	221℃ (HSDB (Access on October 2023))
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	89℃ (GESTIS (Access on October 2023))
自然発火点	500℃ (GESTIS (Access on October 2023))
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水：1.131 g/L (20℃) (GESTIS (Access on October 2023)) エタノール、エーテルに可溶 (HSDB (Access on October 2023))
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	0.06 hPa (20℃) (GESTIS (Access on October 2023))
密度及び／又は相対密度	0.9 g/cm ³ (20℃) (GESTIS (Access on October 2023))
相対ガス密度	4.67 (GESTIS (Access on October 2023))

10.安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	発熱反応で酸を中和する。
避けるべき条件	混触危険物質との接触
混触危険物質	イソシアネート、ハロゲン化有機物、過酸化物、フェノール、エポキシド、無水物、酸ハロゲン化物
危険有害な分解生成物	可燃性水素ガス、水素化物

11.有害性情報

急性毒性（経口）	ラットの LD50: 787 mg/kg (HSDB (Access on October 2019)) より、区分 4 とした。
急性毒性（経皮）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：気体）	GHS の定義における液体であり、ガイダンスの分類対象外に相当し、区分に該当しない。
急性毒性（吸入：蒸気）	データ不足のため分類できない。
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	ラットの LC50 (4 時間): 2.4 mg/L (US EPA Screening-Level Hazard Characterization_ Monocyclic Aromatic Amines Category (Sept 2009)) より、区分 4 とした。なお、LC50 値が飽和蒸気圧濃度 (約 0.95 mg/L) よりも高いため、ミストとして mg/L を単位とする基準値を適用した。
皮膚腐食性／刺激性	ウサギに本物質を 4 時間閉塞適用した皮膚刺激性試験でごく軽度刺激性 (slightly irritating) と報告されている (US EPA Screening-Level Hazard Characterization_ Monocyclic Aromatic Amines Category (Sept 2009))ことから、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	本物質 (0.1 mL) をウサギの眼に適用した眼刺激性試験で反応は 72 時間以内に回復した (US EPA Screening-Level Hazard Characterization_ Monocyclic Aromatic Amines Category (Sept 2009))ことから、区分に該当しないとした
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	In vivo データがなく、データ不足のため分類できない。

発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	本物質のヒトでの単回ばく露に関する報告はない。 実験動物では、(1) で、チアノーゼがみられたとの情報があるが、血液検査の結果の記載はなく、血液系を標的臓器とするには不十分と判断した。他に情報がないことから分類できないとした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ラットに 2 週間吸入ばく露（6 時間/日、5 日間/週）した試験において、5.6 ppm（90 日換算: 0.0034 mg/L、区分 1 の範囲）以上でメトヘモグロビン増加がみられ、32.8 ppm（90 日換算: 0.02 mg/L、区分 1 の範囲）以上で溶血性貧血及びこれに関連した脾臓、肝臓及び骨髄での造血亢進がみられた（previous HPV-IS; available from U.S. EPA ChemView (Access on October 2019))ことから、区分 1（血液系）とした。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

12.環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性（急性）	魚類（ファットヘッドミノー）96 時間 LC50 = 49.5 mg/L (AQUIRE (2018)、Brooke, L.T. et al. (1984))であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性（長期）	慢性毒性データが得られていない。急速分解性がなく、急性毒性区分 3 であることから、区分 3 とした。
残留性・分解性	データ不足のため分類できない。
生態蓄積性	データ不足のため分類できない。
土壌中の移動性	データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、
-------	---

汚染容器及び包装

有害性を十分告知の上処理を委託する。

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制

国連番号	2754
品名（国連輸送名）	N-ETHYLTOLUIDINES
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	6.1
副次危険	-
容器等級	II
海洋汚染物質	該当しない
"MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC	該当しない
コードによるばら積み	
その他の安全対策	

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	航空法の規定に従う。
陸上規制情報	道路法、毒物及び劇物取締法、消防法の規定に従う。
特別な安全上の対策	道路法、毒物及び劇物取締法、消防法の規定によるイエローカード携行の対象物
その他（一般的）注意	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	153

15.適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（ラベル表示・SDS 交付義務対象物質）（規則別表第2）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	劇物（政令第2条第1項第6号 N-アルキルトロイジン及びその塩類）
労働基準法	該当しない

化審法	一般化学物質（3-187）
消防法	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1）
大気汚染防止法	該当しない
水質汚濁防止法	該当しない
水道法	該当しない
下水道法	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当しない
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）【3 N－エチル－m－トルイジン】
航空法	毒物類・毒物（施行規則第194条危険物告示別表第1）（国連番号 2754 N－エチルトルイジン）
船舶安全法	毒物類・毒物（危規則第3条危険物告示別表第1）（国連番号 2754 N－エチルトルイジン）
港則法	その他の危険物・毒物類（毒物）（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）（2チ N－エチルトルイジン）

16.その他の情報

参考文献等

引用文献はデータ毎に記載

<記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので、取扱いには注意してください。なお、注意事項については通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。